

## 本市の文化芸術に関する取組について

本市では、第五次鹿児島市総合計画（計画期間：平成24年度～平成33年度）に基づき、市民が文化芸術に触れ親しむ機会の充実と文化を担う人材の育成及び多様な文化芸術活動の支援などを行うほか、文化施設の活用及び文化情報の発信と保存に取り組むとともに、文化財の保護と活用、世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」の管理保全と理解増進に取り組んでいます。また、観光や国際交流、福祉、教育、産業等の分野において文化芸術を生かした様々な事業を行っています。

平成24年3月には、市民との協働により文化振興を通じた元気な地域づくり・人づくりを進めるために「文化薫る地域の魅力づくりプラン」を策定し、平成29年3月には取組をさらに進めるため「第2期文化薫る地域の魅力づくりプラン」を策定しました。同プランに基づく事業は、学識経験者や関係団体等の代表者、各分野の専門家等で構成される「文化薫る地域の魅力づくり実行委員会」において、文化イベントやワークショップ、交流会等を幅広く実施しています。

これまでの取組を振り返り、令和2年9月に実施した市民意識調査結果などから成果と課題について整理します。

### 1 市が実施する文化芸術に関する取組

本市の文化芸術の振興を図るため、市民や文化芸術団体が行う文化芸術活動の支援や各種の文化イベントの開催、子どもが文化芸術に触れる機会の提供、将来世代へ継承する文化財等の保護と活用に取り組むほか、文化芸術の鑑賞や活動の拠点となる文化施設の管理運営と情報の発信を行うとともに、観光や国際交流など様々な場面で文化芸術を生かし、事業を推進しています。主な事業は以下のとおりです。

#### 文化芸術の振興に関する主な事業

##### ○文化芸術活動の支援

- ・鹿児島市少年少女合唱団の運営
- ・文化芸術活動活性化補助金による支援
- ・市民文化祭及び各種文化事業の共催
- ・市民アートフェアかごしまの開催
- ・児童書の出版助成や児童文学創作講座、創作童話の表彰

##### ○文化芸術に関する公演やイベントの開催

- ・ランチタイムコンサートの開催
- ・鹿児島市ふるさと芸能祭の開催
- ・自主文化事業の実施（(公財)かごしま教育文化振興財団主催）
- ・文化薫る地域の魅力づくりプランに基づく事業の実施

##### ○子どもが文化芸術に触れる機会の提供

- ・小中学校等への芸術家派遣や演劇鑑賞の機会の提供
- ・児童生徒が鹿児島弁に触れる機会の提供
- ・読み聞かせ会の開催、小・中学校での児童文学賞受賞者との交流

#### ○文化財・世界遺産の保護、活用

- ・指定文化財や郷土芸能の保存・保護に係る助成
- ・旧島津氏玉里邸庭園の管理運営（上御庭の一般公開、茶会開催等）
- ・世界遺産理解増進イベントの開催

#### ○文化施設の管理運営等

- ・かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館の管理運営
- ・鹿児島市市民文化ホール、谷山サザンホールの管理運営
- ・美術館の管理運営
- ・図書館の管理運営
- ・ふるさと考古歴史館の管理運営
- ・まちなか図書館（仮称）の整備

#### ○文化芸術に関する情報の発信

- ・かごしまデジタルミュージアムの運営
- ・かごしま文化情報センター（K C I C）の運営

### 観光や国際交流、福祉、教育、産業等の分野における文化芸術を生かした主な事業

#### ○観光

- ・おはら祭、渋谷・鹿児島おはらの開催
- ・桜島火の島祭りの開催
- ・映画撮影等の誘致支援

#### ○国際交流

- ・アジア青少年芸術祭の開催

#### ○福祉

- ・すこやか長寿まつりの開催
- ・こころで描く絵画展(精神障害者ふれあい交流事業)の開催

#### ○教育

- ・全国大会等に出場する小・中・高等学校の文化活動団体への助成

#### ○産業

- ・かごしまデザインアワードや人材育成セミナーの開催
- ・クリエイティブ産業創出拠点施設マークメイザンの管理運営
- ・伝統的工芸産業の振興

## 2 第2期文化薫る地域の魅力づくりプランに基づく取組

平成29年3月に策定した第2期文化薫る地域の魅力づくりプラン（計画期間：H29～R3年度）においては、4つの基本方針「人づくり・体制づくり」「継承・活用・発展」「創造・交流」「情報の共有・発信」のもと、文化薫る地域の魅力づくり実行委員会に音楽・美術・伝統芸能などの分野毎に部会を設置して企画の検討を行い、地域住民や学生、各種団体と協働しながら様々な事業を実施しています。主な事業及び成果と課題は次のとおりです。

**文化薫る地域の魅力づくり実行委員会で実施する主な事業 ※H29～R3 年度**

- ・音楽とあかりと伝統芸能のイベント「音とあかりの散歩道」
- ・体験型のアートイベント「げいじゅつ たいけん！ かんまちあ」
- ・伝統文化に触れるイベント「TSUNAGU和のせかい～ふれてみよう日本のこころ」
- ・小中高生による駅前広場での合同パフォーマンス「まちなか音楽ステージ」
- ・かごしま伝統芸能ネットワーク会議の開催、地域伝統芸能についての学びや担い手間の交流を図る事業
- ・文化情報の発信を行う「かごしま文化情報センター（KCIC）」の運営



音とあかりの散歩道



げいじゅつ たいけん！ かんまちあ

**第2期文化薫る地域の魅力づくりプランの基本方針毎の成果と課題**

基本方針	成果	課題
人づくり・体制づくり ～市民みんなで文化を盛り上げる～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術活動を行う学生や参加アーティストの活動の場の提供</li> <li>・市民参加型による協働の取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代がより参加しやすい体制づくり</li> <li>・日常的に文化芸術と接点を持つ機会の創出</li> </ul>
継承・活用・発展 ～「ここにしかない」文化資源を活用する～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化ゾーン等の景観や歴史を生かした特徴ある取組</li> <li>・地域伝統芸能の担い手間での課題の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化資源をより生かした取組の工夫</li> <li>・担い手となる子どもの参加、交流の機会の充実</li> <li>・伝えるための知識や認識の向上</li> <li>・課題解決のための取組の整理</li> </ul>
創造・交流 ～新たな地域文化を創造し、交流を図る～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内で活動する文化芸術団体や学生、福祉施設利用者など多様な主体の連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関とより連携した取組による交流の推進</li> <li>・垣根を越えたネットワークづくりによる地域文化の創造</li> </ul>
情報の共有・発信 ～多くの文化情報を集め広くわかりやすく発信する～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かごしま文化情報センター等における様々な媒体による情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な視点での担い手の育成や市民と文化芸術との繋ぎ手の検討</li> <li>・さらなる認知度の向上</li> </ul>

### 3 文化芸術に関する市民意識調査結果

本市では、令和2年9月に、市民の文化芸術に関する意識の実態を把握し、本計画策定の基礎資料とするため文化芸術に関するアンケート調査を実施しました。

これらの調査結果を基に成果や課題について分析します。

(文化芸術に関する市民意識調査の実施方法)

調査区域：鹿児島市内全域

調査対象：鹿児島市に居住する16歳以上の市民3,000人

(男女1,500人、無作為)

調査方法：令和2年9月11日(金)～令和2年9月30日(水)

回収結果：

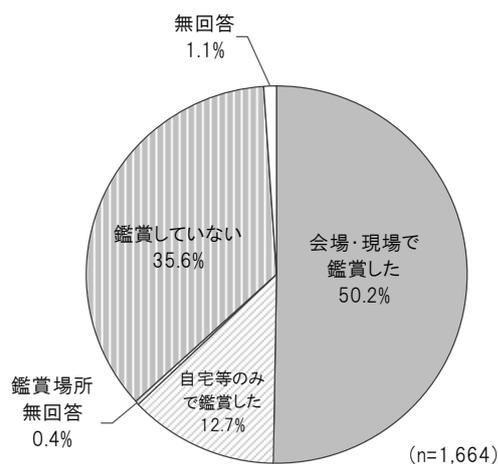
調査方法	配布数	有効回答数	回収率
郵送	3,000人	1,227人	40.9%
WEB	—	437人	14.6%
合計	3,000人	1,664人	55.5%

#### (1)鑑賞の有無

設問：過去1年間に、文化芸術を会場・現場や自宅等で鑑賞されたことがありますか。  
(1つだけ)

「会場・現場で鑑賞した」が50.2%と最も高く、次いで「鑑賞していない」が35.6%、「自宅等のみで鑑賞した」が12.7%となっている。

会場・現場での鑑賞に限ると「鑑賞してない」は約半数になっている。



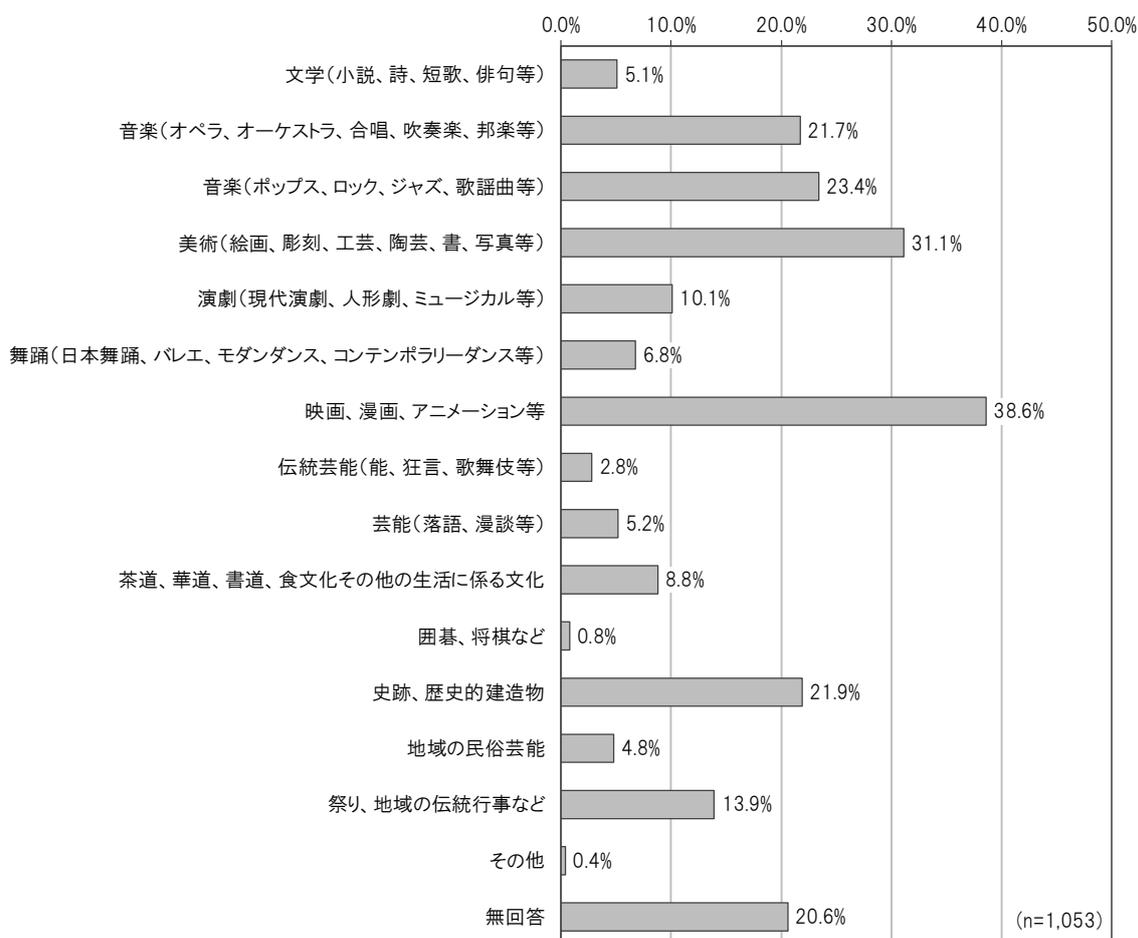
※「会場・現場」…開催会場など現場で実際に鑑賞

※「自宅等」……自宅等(車や電車の中を含む)でテレビやインターネット等を通じて鑑賞

## (2)鑑賞した分野

設問：会場・現場で鑑賞された文化芸術の分野について、あてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも)

「映画、漫画、アニメーション等」が38.6%と最も高く、次いで「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真等）」が31.1%、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲等）」が23.4%、「史跡、歴史的建造物」が21.9%、「音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、吹奏楽、邦楽等）」が21.7%となっている。



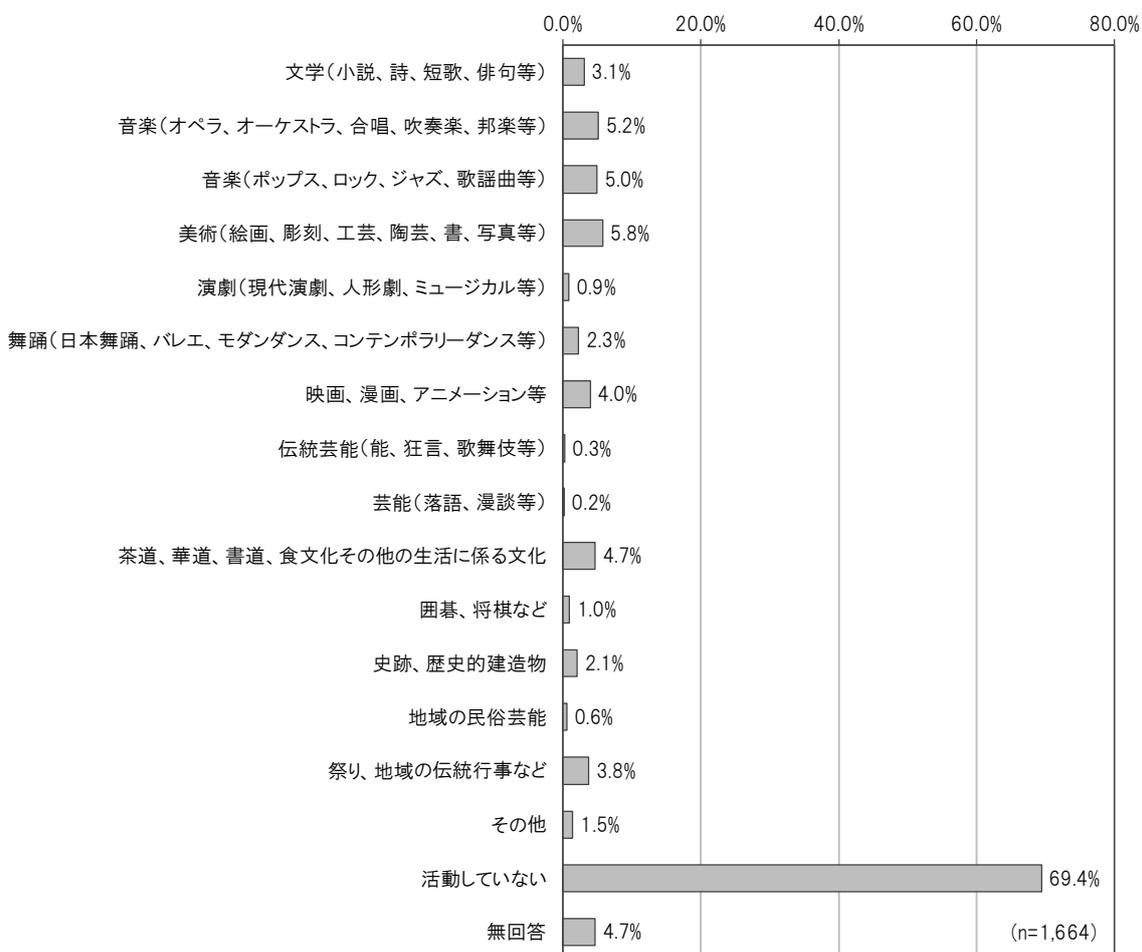
### その他意見（主なもの）

- 中国雑技団
- 太極拳
- 流派の会場

### (3) 活動した分野

設問：過去1年間に、音楽や美術、伝統芸能などの団体に所属したり、講座・教室に通ったり、個人的に取り組んだりするなどして、文化芸術に関する活動をしたことがありますか。あてはまる分野などをお答えください。(いくつでも)

「活動していない」が 69.4%と最も高い。活動した分野で見ると、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真等）」が 5.8%、「音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、吹奏楽、邦楽等）」が 5.2%、「音楽（ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲等）」が 5.0%、「茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化」が 4.7%と比較的高くなっている。



#### その他意見 (主なもの)

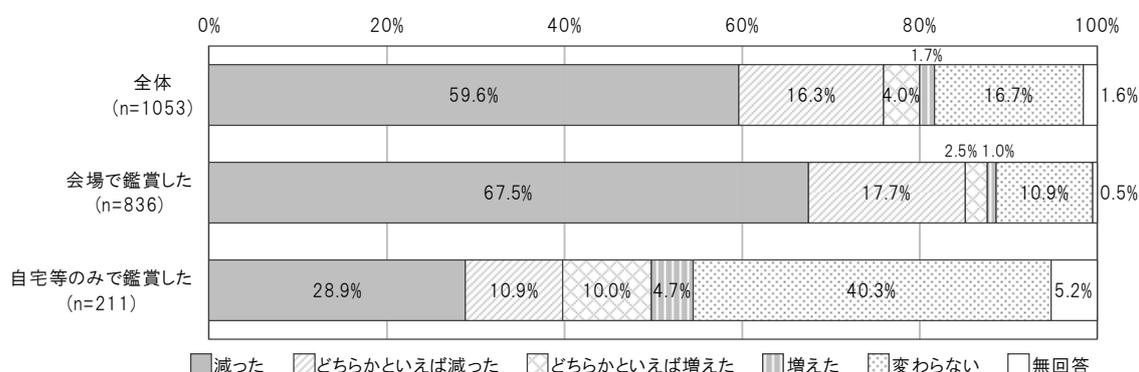
- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| ● 英会話 (2件)   | ● 絵手紙               |
| ● 料理教室 (2件)  | ● 盆栽教室              |
| ● ヨガ (2件)    | ● 太極拳               |
| ● ピラティス (2件) | ● グランドゴルフ           |
| ● ボランティア活動   | ● 衣服制作、ファッションショーの主催 |

#### (4) 新型コロナウイルス感染症の鑑賞・活動への影響

##### ①鑑賞頻度の変化（会場・現場、自宅等別）

設問：新型コロナウイルス感染症の影響により文化芸術を鑑賞する頻度に変化がありましたか。（1つだけ）

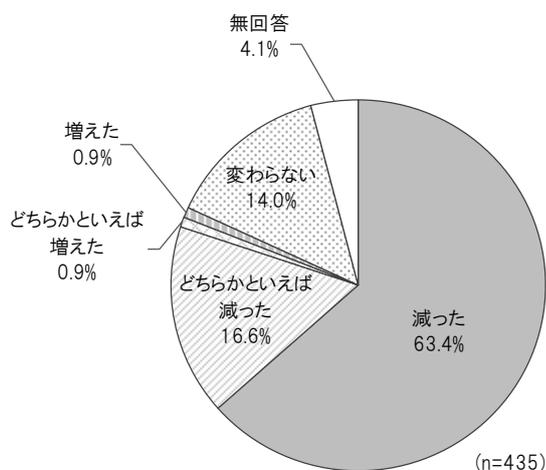
全体では「減った（減った+どちらかといえば減った）」が75.9%となっており、「会場で鑑賞した」と回答した人は「自宅等のみで鑑賞した」と回答した人に比べ「減った（減った+どちらかといえば減った）」が高く、8割を超えている。自宅等のみで鑑賞した人は「変わらない」が40.3%となっている。



##### ②活動頻度の変化

設問：新型コロナウイルス感染症の影響により活動する頻度に変化がありましたか。（1つだけ）

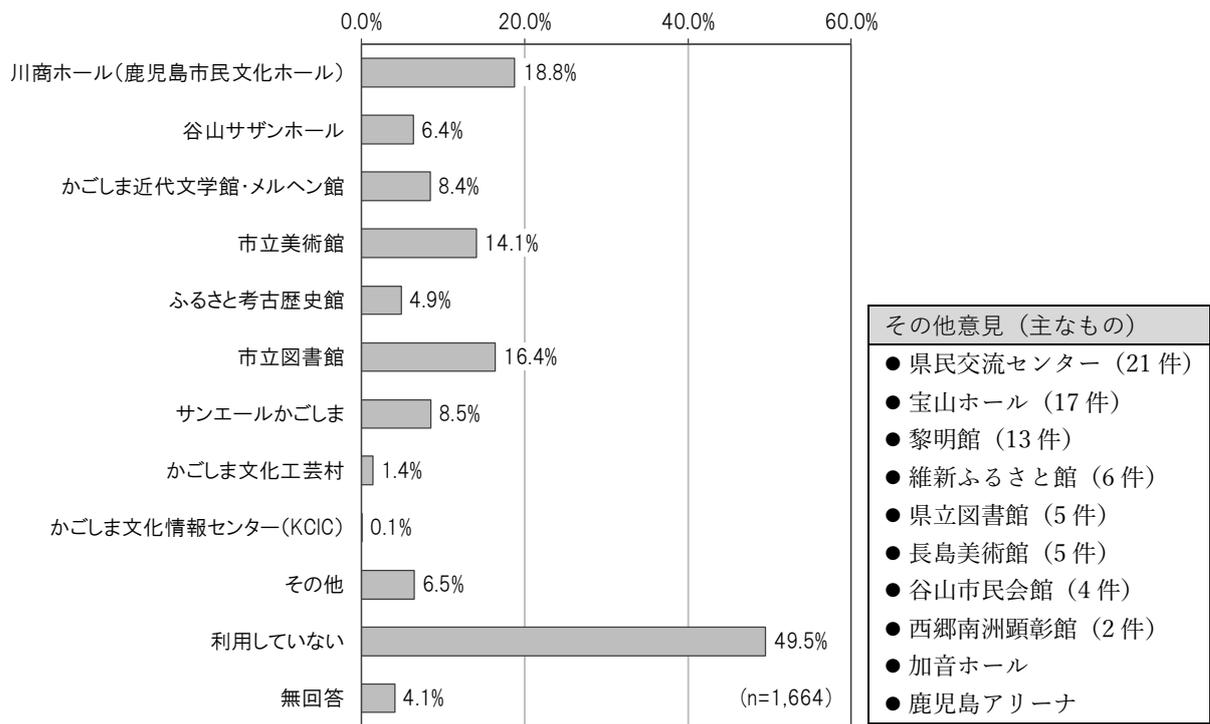
「減った」が63.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば減った」が16.6%、「変わらない」が14.0%となっている。



### (5) 過去1年間の文化芸術に関連する施設利用の有無

設問：過去1年間に本市の文化芸術に関連する施設（下記参照）を利用したことがありますか。（いくつでも）

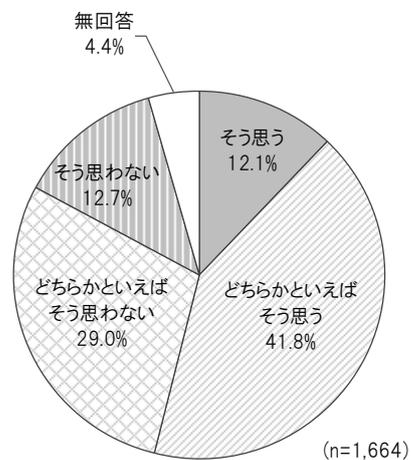
「利用していない」が49.5%と最も高く、利用した施設では「川商ホール（鹿児島市民文化ホール）」が18.8%、「市立図書館」が16.4%、「市立美術館」が14.1%となっている。一方で、「かごしま文化情報センター（KCIC）」は0.1%となっている。



### (6) 文化芸術に関する情報の入手のしやすさ

設問：公演や展覧会等の文化芸術に関する情報は入手しやすいですか。（1つだけ）

「どちらかといえばそう思う」が41.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が29.0%、「そう思わない」が12.7%となっている。

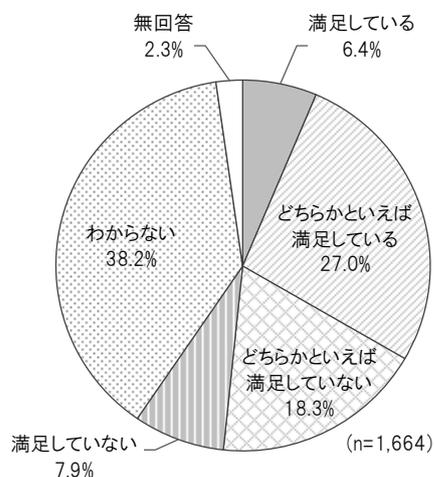


### (7) 本市の文化的環境の満足度

設問：本市の文化的環境（例えば、文化施設の整備状況、文化芸術に関する鑑賞の機会、創作に参加する機会など）に満足していますか。（1つだけ）

「わからない」が38.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」が27.0%、「どちらかといえば満足していない」が18.3%となっている。

年代別で見ると、30～40歳代では「満足していない（満足していない+どちらかといえば満足していない）」が「満足している（満足している+どちらかといえば満足している）」に比べ高くなっている。



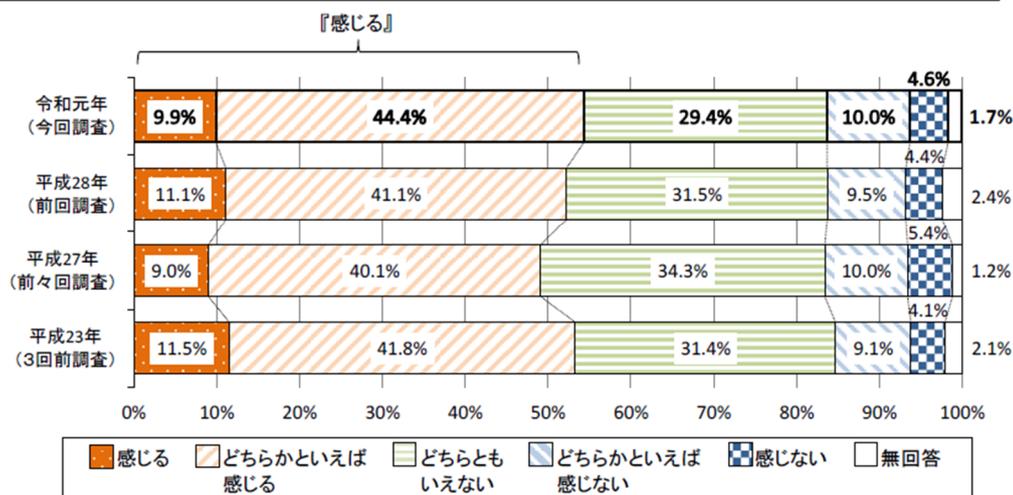
		問18 文化的環境への満足度						
		サンプル数	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	わからない	無回答
上段: 度数	下段: %							
全体		1,664	106	449	305	131	635	38
		100.0%	6.4%	27.0%	18.3%	7.9%	38.2%	2.3%
年代別	10歳代	76	10	29	5	0	32	0
		100.0%	13.2%	38.2%	6.6%	0.0%	42.1%	0.0%
	20歳代	124	15	40	14	13	39	3
		100.0%	12.1%	32.3%	11.3%	10.5%	31.5%	2.4%
	30歳代	196	8	41	32	31	84	0
		100.0%	4.1%	20.9%	16.3%	15.8%	42.9%	0.0%
	40歳代	263	9	63	55	31	101	4
		100.0%	3.4%	24.0%	20.9%	11.8%	38.4%	1.5%
	50歳代	260	16	64	62	12	106	0
		100.0%	6.2%	24.6%	23.8%	4.6%	40.8%	0.0%
60歳代	323	12	102	77	19	111	2	
	100.0%	3.7%	31.6%	23.8%	5.9%	34.4%	0.6%	
70歳代	259	24	83	35	12	92	13	
	100.0%	9.3%	32.0%	13.5%	4.6%	35.5%	5.0%	
80歳代	130	9	21	20	9	59	12	
	100.0%	6.9%	16.2%	15.4%	6.9%	45.4%	9.2%	
90歳以上	20	2	3	2	3	9	1	
	100.0%	10.0%	15.0%	10.0%	15.0%	45.0%	5.0%	
無回答	13	1	3	3	1	2	3	
	100.0%	7.7%	23.1%	23.1%	7.7%	15.4%	23.1%	

**(参考) 第五次鹿児島市総合計画に係る市民意識アンケート調査**

設問：音楽や美術等の芸術を鑑賞したり、史跡を訪れて歴史や伝統に触れ、親しむことのできる環境が整っていると感じますか。

文化的環境が整っていると感じる市民の割合では、「感じる（感じる＋どちらかと言えば感じる）」の割合が54.3%となっており、前回調査時（52.2%）より若干増加している。

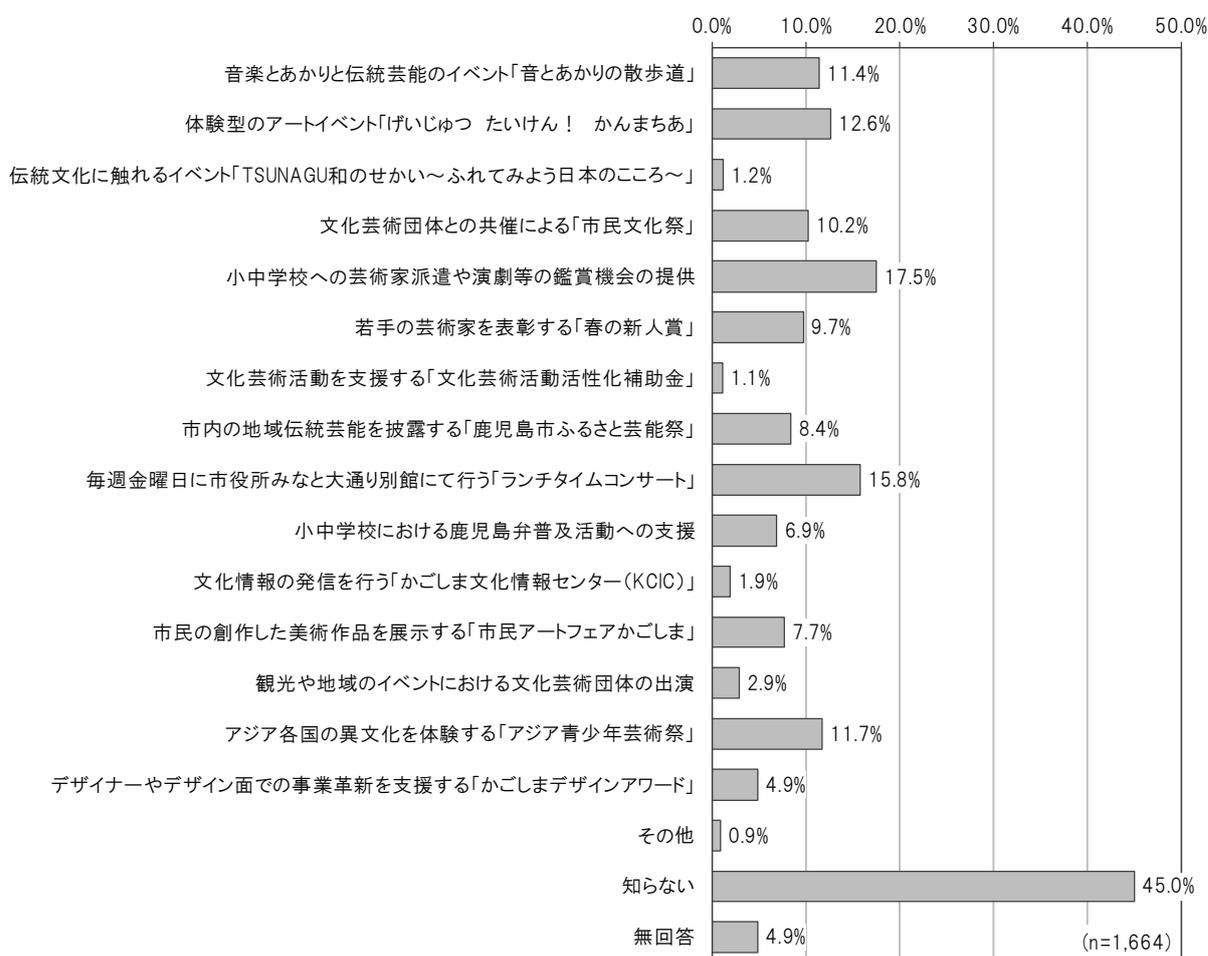
「文化芸術などに親しみ、身近に体験できる環境が整っている」と感じる市民の割合・54.3%



## (8) 本市の文化芸術の取組の認知度

設問：本市では、平成29年に「第2期文化薫る地域の魅力づくりプラン」を策定し、「美術」「音楽」「地域伝統芸能」の分野を中心に文化振興を通じた元気な地域づくり・人づくりを進めているほか、文化芸術に関する様々な事業を実施していますが、これらの取組について知っていますか。(いくつでも)

「知らない」が45.0%と最も高くなっている。認知されている事業では「小中学校への芸術家派遣や演劇等の鑑賞機会の提供」が17.5%、「毎週金曜日に市役所みなと大通り別館にて行う「ランチタイムコンサート」」が15.8%となっている。



### その他意見（主なもの）

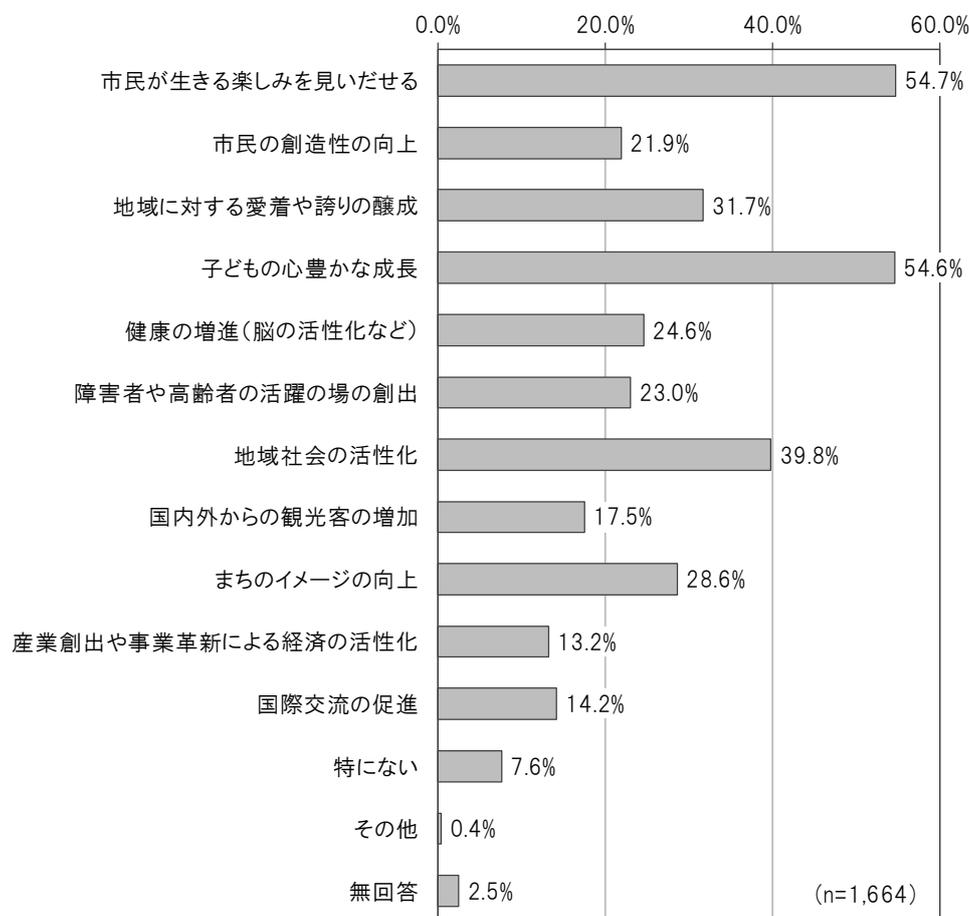
- 鹿児島ジャズフェスティバル
- 文化芸術の取組の事知らなかったが多い
- 知っているけど、参加したことがない。
- ちょっと聞いたことがあるといった感じで内容は知らない。
- テレビ放送を通じて「あのこと」なのかなと思う程度です。
- 名前だけは聞いたことがあるが内容がわからない。
- 市内の一部に限られている気がする。
- 情報を教えて欲しい。各イベントの計画等。
- 改めて知らされました。参加したくても高齢の為(81才)参加出来ないのが残念です。
- 自分の趣味(読書、絵)で手いっぱい!色々活動されていることは分かります。

### (9) 文化芸術の振興の社会的な効果

設問：本市において、文化芸術の振興が図られることにより社会にもたらされる効果としてどのようなことを期待しますか。(いくつでも)

「市民が生きる楽しみを見いだせる」が54.7%と最も高く、次いで「子どもの心豊かな成長」が54.6%、「地域社会の活性化」が39.8%となっている。

そのほか、「地域に対する愛着や誇りの醸成」が31.7%、「まちのイメージの向上」が28.6%と比較的高くなっている。



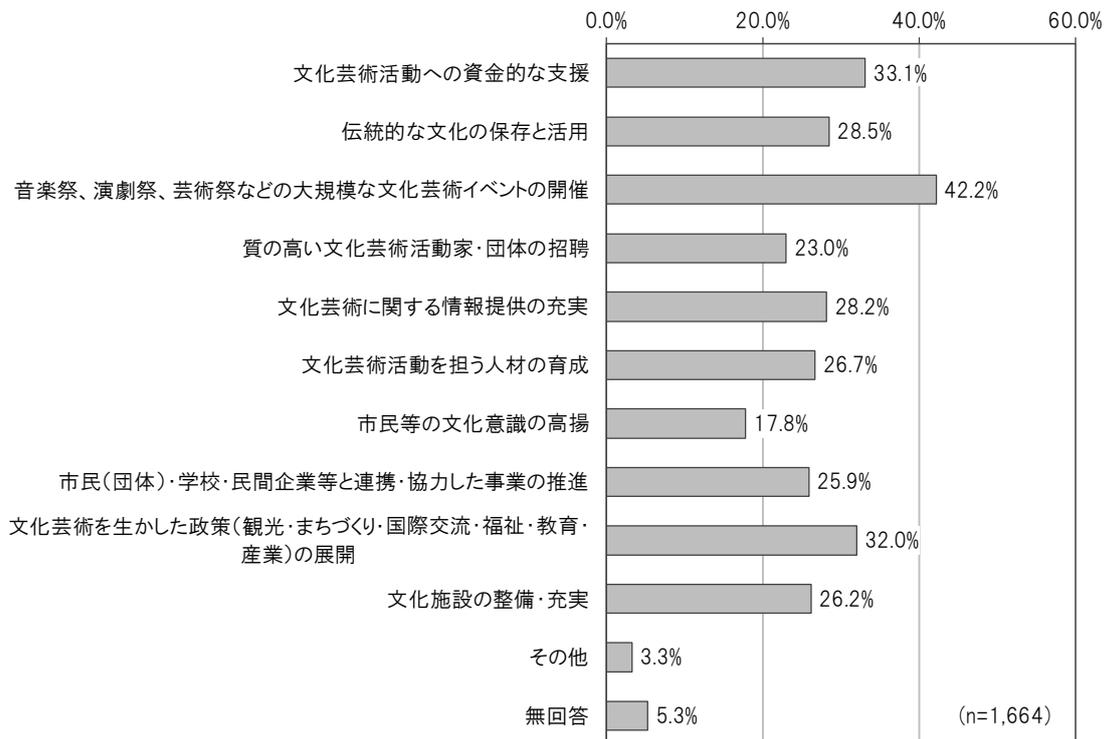
#### その他意見 (主なもの)

- ドームを作ってもらって沢山の人来てもらって町も活性化。
- 子どもだけでなく、市民の道德心の涵養

## (10) 文化芸術を生かしたまちづくりに必要な取組

設問：文化芸術を生かしたまちづくりを行うために、本市でどのような取組が必要であると考えますか。(いくつでも)

「音楽祭、演劇祭、芸術祭などの大規模な文化芸術イベントの開催」が42.2%と最も高く、次いで「文化芸術活動への資金的な支援」が33.1%、「文化芸術を生かした政策（観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業）の展開」が32.0%となっている。



### その他意見（主なもの）

- 無料・低費用のイベント（4件）
- 作品発表等の場所の提供（3件）
- 子ども・若者の参加に向けた取組（3件）
- 無理して取組む必要はない（2件）
- 市民の草の根の活動も後押しするような施策
- 屋外の公共空間での文化芸術活動の振興
- 伝統的な文化に拘わらずサブカルチャーにも広く目を向けること
- 高齢者の参加に向けた取組
- 働く人の参加に向けた取組
- 市民が気軽に参加できる広報活動や場所の提供。

#### 4 まとめ

今後の課題として、次のようなことが挙げられる。

- ・文化芸術を会場・現場で鑑賞していない人の割合は約半数となっており、活動していない人も約7割となっているため、文化芸術に身近に触れ親しむ機会のさらなる創出が求められる。
  - ・文化芸術に関連する施設を利用していない人が49.5%となっており、施設の充実や利用しやすい環境の整備を進める必要がある。
  - ・文化芸術に関連する事業の認知度について、知らない人の割合が45%となっているため、魅力や認知度の向上に努める必要がある。
  - ・文化芸術に関する情報を入手しにくい人が41.7%となっているため、文化施設や文化イベントの効果的な広報・周知を行い、文化芸術全体の情報発信を強化するなかで、市民へ文化芸術の魅力を分かりやすく伝えることが求められる。
  - ・文化芸術の振興の社会的な効果について、子どもの心豊かな成長や市民が生きる楽しみを見いだせること、地域社会の活性化などが期待されており、将来の文化芸術の担い手となる子どもや若い世代がより参加しやすい環境づくり、文化芸術を通じた地域の活性化等を進めることが大切である。
  - ・事業を推進するにあたり、課題解決のための取組を整理しながら、市民と文化芸術との繋がりを促進するとともに、垣根を越えたネットワークをつくることにより、新たな市民文化が創造されるよう取り組むことが大切である。
- 
- ・本市の文化的環境に満足している人の割合は33.4%となっており、また、今後の取組として大規模な文化芸術イベントの開催や文化芸術活動への資金的な支援、文化芸術を生かした他分野での政策の展開が求められていることから、市民や関係団体等と連携しながら幅広い世代が文化芸術に触れる機会をさらに創出するとともに、文化施設の魅力の向上や文化芸術に関する情報発信の充実等に取り組むことにより満足度の向上に努め、本市の文化芸術を推進する必要がある。